

2024年度 指定管理者導入施設総合評価表

| | | | |
|---------|------------------|--------------|---------|
| 【施設概要】 | | 所管課 | 文化スポーツ課 |
| 施設名 | 須坂クラシック美術館 | | |
| 所在地 | 須坂市大字須坂371-6 | | |
| 施設設置目的 | 市民文化の向上に資するため | | |
| 施設概要・設備 | 木造地上2階 延床面積6937㎡ | | |
| 建設年月 | 1995年7月 | 指定管理 開始年月 | 2009年4月 |

【指定管理概要】

| | |
|-------------|---|
| 指定管理者名 | (一財)須坂市文化振興事業団 |
| 指定期間 | 2024.4.1～2029.3.31 |
| 業務内容 | (1) 閲覧及び工房の利用の許可並びに許可の取消し及び停止に関する業務 (2) 施設及び備品等の維持管理に関する業務 (3) 観覧料等の徴収、減免及び還付に関する業務 (4) 文化芸術の振興及び普及のため実施する事業に関する業務 (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務 |
| 職員体制 | 常勤: 3名 非常勤: 0名 合計: 3名 |
| (専門職、役職等内訳) | 常勤のうち学芸員1名、このほか館長と主任事務員が旧小田切家住宅と兼務 |

1 施設利用状況

| 項目 | 単位 | 目標値 | 実績 | | | 対前年比 | 対目標値 |
|------|----|-----------|--------|--------|--------|--------|-------|
| | | | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | | |
| 入場者数 | 人 | 6,741 | 4,117 | 3,767 | 4,081 | 108.3% | 60.5% |
| | | ※2019年度実績 | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | | |

2 収支の状況

単位:千円

| 指定管理者 | | | 市 | | | | |
|------------|---------|--------|--------|---------|---------|--------|--------|
| 科目 | 予算額 | 決算額 | 科目 | 予算額 | 決算額 | | |
| 収入 | 指定管理料 | 17,760 | 17,760 | 収入 | 使用料・手数料 | | |
| | 使用料・手数料 | 1,000 | 943 | | | | |
| | | | | | | | |
| | その他 | | | | その他 | | |
| | 収入計 | 18,760 | 18,703 | | 収入計 | | |
| 支出 | 人件費 | 13,896 | 13,597 | 支出 | 指定管理料 | 17,760 | 17,760 |
| | 需用費 | 3,194 | 2,559 | | 修繕費 | 180 | 180 |
| | 役務費 | 1,947 | 1,913 | | 備品購入費 | 338 | 338 |
| | | | | | | | |
| | その他 | 3,473 | 3,115 | | その他 | 188 | 188 |
| | 支出計 | 22,510 | 21,184 | | 支出計 | 18,466 | 18,466 |
| 管理事業損益 (a) | -3,750 | -2,481 | 管理事業損益 | -18,466 | -18,466 | | |

| | |
|---------------------------------|--------|
| 損益 (a) + (b) 管理事業損益 + 自主事業損益 | -2,481 |
|---------------------------------|--------|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | 旧小田切家住宅に在席の館長及び主任の人件費の1/2をクラシック美術館で負担している。 手数料、広告宣伝費については委託料の内訳科目としているので、その他に含んでいる。 |
|------|--|

3 自主事業の実施状況

| | |
|--------|--|
| 自主事業実績 | |
|--------|--|

単位: 千円

| 自主事業名 | 収入 | 支出 | 備考 |
|-------|----|----|-----------|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| 合計 | | | 自主事業損益(b) |

4 利用者評価

| | |
|-----------|---|
| ①利用者要望の把握 | (1)利用者要望の把握方法(時期・方法・回答数等) |
| | アンケート用紙記入方式(来館者) |
| | (2) 調査等の結果 |
| | 62人 |
| ②利用者からの声 | (1)良好とする評価 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・素敵な古民家で、全体の雰囲気に癒された。(20代男性) ・SNSを拝見し、必ず訪れたいと思っていたが、とてもリラックスした時を過ごせた(40代女性) ・岡先生のコレクションと建物とても素晴らしかった。(50代男性) ・普段着の着物がすてきでした。(60代女性) ・「ご案内Book」がとてもわかりやすく、見学しただけでは知りえない情報を知ることができた。(50代女性) |
| | (2)苦情・改善の要望 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・素晴らしい建物でした。ボランティアガイドが説明してくれたらもっとわかりやすいただろうと思った。(80代女性) |
| ③対応措置 | <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアガイドはいないため、「ご案内Book」の一層の活用を図る。 |

| 5 項目別評価 | | 評価 | 評点 |
|---------|-----------|--|-----|
| 1 | 指定管理者の健全性 | 団体の財務状況(※営利企業のみ)や組織体制は、他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か | ○ 2 |
| 2 | 施設利用状況 | 施設の利用者数や稼働率は適正であるか | ○ |
| | | 施設の利用者数や稼働率を維持、向上させるための取り組みや工夫がおこなわれているか | ◎ 3 |
| 3 | 財務状況・経理 | 指定管理業務会計と自主事業や団体の会計を区別して、適正に管理しているか | ○ |
| | | 収支予算に基づき、予算の範囲で適切な支出が行われているか施設運営に不要な経費の支出がないか | ○ |
| | | 収入増加への取り組みを行い、その効果はあったか※無料施設は対象外 | ○ |
| | | 経費節減への取り組みを行い、その効果はあったか | ○ |
| | | 経理帳簿や伝票等の保管、現金の取扱は適切に行われているか | ○ |
| 4 | 施設運営管理 | 協定書に定められた閉館日、開閉館時間等を遵守しているか | ○ |
| | | 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか | ○ |
| | | 利用者が快適に利用できるよう、施設の清掃や整理整頓が行われているか | ◎ |
| | | 施設の備品を適切に管理しているか | ○ |
| | | 必要な修繕は適切に実施され、市に報告しているか | ○ |
| | | 協定書等で定められた事業計画・報告書、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか | ○ |
| | | 業務の第三者委託の範囲、理由、委託先は適当であるか | ○ |
| | | 省資源・省エネルギー、廃棄物減量等環境への配慮がされているか | ○ |
| 5 | 職員体制 | 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか | ○ |
| | | 職員の資質・能力向上を図る取り組みや研修がなされたか | ○ |
| | | 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか | ○ |
| 6 | 利用者サービス | 利用者に対する職員の接客マナー(言葉づかい、態度、服装等)は適切か | ◎ |
| | | 障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理・運営がなされているか | ○ |
| | | 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか | ○ |
| | | 地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域交流の支援を実施しているか | ○ |
| | | アンケート調査や意見箱等により、利用者からの意見や苦情等を把握し、施設運営に反映する仕組みが整っているか | ○ |
| 7 | 安全対策・危機管理 | 危険箇所の把握や対応マニュアルの策定等、事故防止や安全確保のために必要な対策が講じられているか | ○ |
| | | 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか | ○ |
| | | 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求の対応措置が講じられているか | ○ |
| | | 利用者名簿等の個人情報が適切に管理されるとともに、職員研修の実施等、漏洩防止の対策が講じられているか | ○ |

| | |
|------|------|
| 合計点 | 17 点 |
| 総合評価 | A |

評点
 ・各項目の評価に◎があり、その他は○…3点
 ・各項目の評価がすべて○…2点
 ・各項目の評価に△があり、×はない…1点
 ・各項目の評価に×がある…0点

総合評価
 A (優れている) 合計15点以上
 B (適正) 合計14点
 B' (若干の改善が必要) 合計11点~13点
 C (さらなる努力が必要) 合計10点以下

評価基準
 ◎ … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の適切な実施かつ期待以上の成果。
 ○ … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業が適切に実施されている。
 △ … 協定、事業計画に基づく管理運営の一部が予定どおり実施されていない。
 × … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が行われていない。

6 指定管理者による自己評価

(1)今年度の取り組みに対する評価

- ・「岡信孝の画とコレクション」「着物や和をテーマとした展示と体験」を特色として、暮らしの美や文化を伝えることに努めた。
- ・岡信孝記念展示室では、牡丹の花が開く時期に合わせ岡画伯の牡丹や大輪の花をモチーフとした収蔵品を展示し、岡画伯の代表作への認知度が上がった。
- ・人形工房「はる」の手仕事を10年ぶりに展示し、ワークショップ、ギャラリートークも開催し、見るだけではない体験をしてもらえた。
- ・継続事業である「きもの試着体験」、「虫干し会」、「きもの日和」とともに、着物に親しんでもらう機会とすることができた。

(2)課題

- ・建物の老朽化に伴う修繕箇所の増加への対応と適正な維持管理
- ・入館者増に向けた対応 ・夏季における主屋2階及び土蔵展示室の暑さ対策

(3)次年度以降の取り組み

- ・当館の特色を生かした企画展に努める。
- ・開館30周年企画展『復刻銘仙展—新啓織物ほぐし織—』展の開催。
- ・岡信孝画伯から新たに寄贈いただいた「新収蔵品展」『昭和大正モダンガラス展』と『いろは草花図展』の開催。
- ・開館30周年を記念して、岡信孝画伯の画家人生をたどる『岡信孝展』の開催。
- ・開館30周年を記念して、岡信孝画伯の当館コレクションと画伯の半生を綴った図録の作成、販売。
- ・入館者及び物販収入の増加を目指す。

7 市による総合評価

(1)今年度の取り組みに対する総合評価

過去に好評だった展示を再度企画し、ワークショップも同時に開催することで利用者数が増加した。文化財建築物のためエアコン設置ができず、夏の暑さ対策に特に苦慮しているが、工夫をしながら入館者の増加に取り組んでいる。

古く複雑な構造の建物だがすべての部屋で丁寧な清掃が行われた。

職員はみな知識・経験とも豊富であり、適切な接客マナーで、かつ丁寧な対応ができている。